

**日産自動車のサイト、YouTubeにて無料配信中！**

**楽曲スタートから最短 10 秒で泣きやむ！？**  
**日産自動車『赤ちゃんのためのドライブミュージック』**  
**効果説明ムービーを日産 HP にて公開**

日産自動車株式会社(本社:神奈川県横浜市西区、社長:カルロス ゴーン、以下:日産)は、赤ちゃんのためのドライブミュージック「ココニイルヨ」と「パピペポロリン」を制作し、3月7日より定額制音楽配信サービス「AWA」を通じて無料配信を開始し、現在は日産のホームページからも無料で楽曲をダウンロードしていただくことが可能です。共働きのご夫婦が増加する昨今、赤ちゃんと2人だけでクルマに乗るママやパパのために日産が送るドライブミュージックとなっており、配信から多くの好評をいただきました。

また、この反響をうけ、3月30日(水)より本ドライブミュージックの赤ちゃん効果説明ムービーを公開いたしました。(URL: [http://www.nissan.co.jp/SOCIAL/ARTICLE/20160307\\_001/](http://www.nissan.co.jp/SOCIAL/ARTICLE/20160307_001/))

■ 『赤ちゃんのためのドライブミュージック』効果説明ムービー内容

追浜試験場「GRANDRIVE」のテストコースにて、生後半年から2歳未満の赤ちゃんのいる親子10組を対象に、親子で実際に乗車いただき、『赤ちゃんのためのドライブミュージック』を聴いていただきました。

後部座席に用意されたチャイルドシートに1人で座り、ドライブを始めると早々に泣き始める赤ちゃん達。お母さんがバックミラー越しに赤ちゃんに声をかけてあやすも効果は見られず、不安そうに用意された『赤ちゃんのためのドライブミュージック』を流し始めると、最短でわずか10秒後には落ち着き始め、最終的にスヤスヤと眠りにつく赤ちゃんが続出。実車後のお母さん達のインタビューでは、「こんなに早く泣きやむと思わなかった」「泣かずに乗ってくれると(自分まで)ニコニコして乗っちゃいました」などお母さん達自身も落ち着いて運転をすることができ、親子でドライブを楽しめました。



**【報道関係お問い合わせ先】**

日産ソーシャルメディアプロジェクト PR 事務局(イニシャル内) 担当:松村・宮田  
tel :03-6821-5730/fax :03-3584-0727 Mail:nissan2016@vectorinc.co.jp

## <特別サイト>

- 公開日 2016年3月7日(月)
- URL [http://www2.nissan.co.jp/SOCIAL/ARTICLE/20160307\\_001/](http://www2.nissan.co.jp/SOCIAL/ARTICLE/20160307_001/)
- 公式 SNS <https://twitter.com/NissanJP/> (Twitter アカウント)  
<https://www.facebook.com/NissanJP> (Facebook ページ)

## <楽曲配信サービス: AWA>

- 配信期間 2016年3月7日(月)~
- URL <https://s.awa.fm/user/sxzjmp6vhbfbravcnb6mxpjb64/>

## ■配信楽曲

「ココニイルヨ」



「ココニイルヨ」インスト



「パピブペポロリン」



本楽曲は、放送作家であり日産ソーシャルメディアプロジェクト「にっちゃん情報局」編集長である、鈴木おさむ氏が作詞。日産公式 facebook や twitter など全国のママとパパに、「赤ちゃんを泣きやませるときや寝かしつけるときに使っているフレーズ」を募集し、集まった900件以上のことばを参考に、鈴木おさむ氏独自の視点で編集して制作しました。

また、過去に多くの、赤ちゃんの泣きやみ効果が期待できる楽曲やおもちゃを手がけた、日本音響研究所が監修し、赤ちゃんが興味を持ち易いと言われる5,000~6,000ヘルツの高い周波数を中心に作曲しています。クルマの中には、密閉空間で外部から高い音が入りにくく、また逆にドライブノイズは低い周波数なので、5,000ヘルツ以上を中心に作曲したこの楽曲の高音を引き立てる効果があります。

## ■日産ソーシャルメディアプロジェクト『にっちゃん』編集長 鈴木おさむのコメント

最近、うちの妻が息子と二人でクルマに乗ることも多いので、この曲を有効活用出来ることを願って作りました。



## ■日本音響研究所 鈴木先生のコメント

子供の興味を音楽に惹きつけて、音楽の特性を変化させることによって泣いている子供を泣き止ませさらにリラックスした状態まで誘導する楽曲を制作しました。

特に今回はドライブ中に効果が発揮できるように実車内の音環境について調査を行い、楽曲制作に反映させました。この曲で子供の心配をしながら運転をするお母さんたちの支えになればと思っています。

## ■日産ソーシャルメディアプロジェクト『にっちゃん情報局』担当者のコメント

全てのママやパパ、そしてお子様の皆さまにとって、クルマにお乗りになる時間がとても楽しく、快適な時間となって欲しい。その思いで今回も日産のにっちゃん情報局は本気の新しいチャレンジをしました。全国のママやパパにご協力いただきながら完成したこの楽曲を是非、より多くの方に聞いていただければ幸いです。